

2022年度 第2回理事会議事録

開催日時：2023年3月11日（土）13:30～15:40

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席者：浅見会長、伊藤副会長、茂野副会長、齋藤副会長、矢部副会長

鈴村会長補佐常務理事、小野総務担当常務理事、河野学会賞・国内学術交流常務理事、秋山財務担当常務理事、岡司財務担当常務理事、八木情報担当常務理事、作山和文誌担当常務理事、中谷英文誌担当常務理事、東山企画担当常務理事、下川企画担当常務理事、佐々木国際担当常務理事、加治佐開催校担当常務理事

北海道地区理事 河野(洋)、濱村、吉岡

東北地区理事 石塚

関東地区理事 内田、鬼木、小林、杉原、新井、桑原、池上

中部地区理事 竹下、楨平

北陸地区理事 木南、堀田

近畿地区理事 岸上

四国地区理事 武藤

九州・沖縄地区理事 坂井、新開

オブザーバー：事務局（共立）齋藤、諏訪

欠席者：久保田関東地区理事、横田中部地区理事、増田近畿地区理事、大仲中国地区理事、赤沢中国地区理事、山口中国地区理事、松岡四国地区理事

議事メモ作成：小野総務担当常務理事

開会ならびに議事進行確認

鈴村：理事会の成立、37/43出席

浅見：(挨拶) 2023年度大会(対面開催)が来週に迫った。これまでの準備・協力に感謝。コロナは一段落したが、飼料・肥料の高騰等、農業経営を取り巻く問題は深刻。各位さらなる尽力を。14:46から1分間黙祷。

議事

1.報告事項(茂野)

(1)総務報告

(1-1)総務担当報告

各種会議実施、会員数、理事交代

総会は本年度もメール審議とzoomでの質疑応答

センサス集落調査廃止問題への対応

要望書作成、常務理事会審議、大臣宛文書発出、本省説明

現時点の本省案：調査内容：ほぼ同一、調査方法：対面から郵送へ
倫理問題への対応

倫理委員会運用細則を検討中、2024年度総会での決定

細則変更、理事選出方法、次期大会の契約

(1-2)情報担当報告

J-stage 掲載（バックナンバー含む）の状況

1 巻あたり 15～20 万、予算と相談

報告論文集、PDF で掲載（1996-99）

報告論文集の EBSCOhost 収録は不可（論文集自体が廃刊のため）

JJAE の announcement、農業経済研究座長解題の掲載は予算と相談し随時

(1-3)財務担当報告

コロナ禍の会議リモート化で経費節減 210 万、収入 130 万減 収支は黒字
詳細は審議

(1-4)学会賞・国内学术交流担当報告

日本農学会関連 推薦なし

農学進歩賞は奨励賞受賞者が有資格者 2 名該当、1 名推薦、但し未受賞

関連学会編集委員長会議は次年度実施

学術賞 1 件、奨励賞 1 件

(2)企画委員会報告（伊藤）

2023 年度大会 アジア農経との共催、承認済み

大会参加者 466 名（一般 276、学生 148、会費免除 42） 大会ディナー450 名
（木南） 英文報告は座長がつかない。報告者が no show の場合の対応は？

（加治佐）各セッションの最後の者が座長的役割をせよと instruction を連絡済み

（伊藤） 設定、タイムキープの学生を各会場 1 名配置

（作山） 最終報告者が座長を務める旨の連絡が来ていないので対応を

（加治佐）対応する

(3)編集委員会報告

和文誌報告（作山）

論文への投稿は増加傾向、報告論文はドロップアウト、未提出がいくつか
英文誌報告（中谷）

Article が 1 本誤投稿（留学生、アジア農経との混同）

英語報告は今回に限り筆頭が非会員でも可

編集委員交代・規程改正（齋藤）

農業経済研究 6 名退任、6 名新任 JJAE 全員留任

(4)国際委員会報告（矢部）

日韓学术交流協定は 2004 年締結、2019 年日韓シンポ開催、その後新協定締結

細則、申し合わせ、にいくつか修正を要する点があり

現在、実現可能な新たな実施細則の作成に向けて協議中

(5)連携委員会報告（浅見）

特段なし

(6)その他（浅見）

①名誉会員の推薦について

（→2. 審議事項にて審議）

②2024年度大会の開催について（予定）

東北大学 2024年3月30日（土）、31日（日）

③2025年度大会の開催校について

日本大学藤沢キャンパス

2.審議事項

(1)2022年度決算(案)（関司）

収入は減少傾向 会費納付率低下（86→82%）

支出も削減傾向

特別会計Ⅰは例年通り、特別会計Ⅱは国際交流の1400万円の基金を繰り入れ

(2)2022年度決算の監査報告（関司）

監事の指摘

カード支払い等導入による納付率向上の検討を

収支改善傾向、今後も留意を

特別会計の貸借対照表を一般会計と同様に期首と期末で

(3)2023年度予算(案)（秋山）

予算は前年実績を基準

大会関連収入が大幅減の予定（アジア農経会計処理上問題）

支出で海外出張・招聘（日韓関連）を計上

なお、予算は収支均衡で計上。予想としては30万円の赤字、繰越金から補填予定

（加治佐）一般会計からの大会参加補助費50万円はどうなっているか？

（関司）特別会計から一般会計に繰り入れる方向

（鈴村）後日この部分のみをメール審議

(4)理事・監事の選任（浅見）

原案通り承認

(5)会則・規程・細則の改正（編集委員会規程改正）（齋藤）

全て原案通り承認、以下主な修正点。

常務理事会の省略（鈴村）これまでの規程では、学会賞受賞者への連絡のため1週間前には、常務理事会 or 理事会を実施する必要があった。理事会を大会開催1週間前に実施することで、常務理事会の省略が可能となるよう修正。

学会誌賞選考における文言修正（齋藤）従前より選考対象者に編集委員が含まれてい

た場合には、選考委員から外していた。ただ運用措置だったため、この旨を規程で定めた。

(6)名誉会員の推薦（浅見）

福田晋会員、南石晃明会員の推薦を承認

(7)会員の入会・退会（鈴木）（※「会則」第4条 理事会承認事項）

資料参照、なお3月31日づけ退会者は参考。

3.学会賞について

(1)学術賞（茂野）

山崎亮一 『本源的蓄積と共同体』筑波書房、2022年4月

なお審査対象は第一部

(2)奨励賞（茂野）

池田真也『商人が絆す市場：インドネシアの流通革命に交わる伝統的な農産物流通』京都大学出版会、2022年

(2)学会誌賞（齋藤）

Yoko Saito, Hideo Aizaki and Hisamitsu Saito, Assessing the Consumer Acceptability of Vaccine Rice, JJAE, 24, 2022.5

その他

大会関連の補足

大会における学会賞の表彰を、アジア農経の closing で実施

個別報告における英語報告・日本語報告の表彰も実施

受賞者スピーチは30秒程度、その旨受賞者には連絡を

次期大会校挨拶は、日本農経 plenary の最後に東北大冬木先生から

閉会（15:43）

以 上

（補足）閉会后、大会への役員出席についての確認

正副会長は「開会式、閉会式（表彰式含む）、日本農経セッション、写真撮影」には参加されたし。また表彰式には、関連する理事も出席のこと。